

舞踊の今

文/安達良春

第58回現代舞踊公演 東北に咲くダンス展 2022は東北6県より集まった現代舞踊家の競演を拝見させていただいた。前日のリハーサルも含め、2日間に渡り八戸市公会堂でどっぴりと現代舞踊に浸った。時間は延べ8時間以上になったが、疲労感も無くすつかりお客さん気分で楽しむ事が出来た。観終わった高揚感が少し浮かれ気味の帰り道で思い出した。「そうだ、講評を書く為に観たんだっ！」

ダンス。バレエ、コンテンポラリー、HIP HOP、JAZZ等ジャンルは多くあれど、「ダンス」という言葉はすっかり身近になり、観る機会もかなり増えた。年齢性別問わず多くの人が踊っている。しかし、身近に感じる様になったとは言え、大きな会場で観る機会は少ない。今回の公演は八戸市公会堂。大会場で観るダンスは、普段目にするダンスとはまた違う魅力があった。

公演のサブタイトルは「東北6県より集まった現代舞踊家の競演」。その言葉通り、様々な雰囲気の商品が並んだ。ダンス教室で学ぶ子ども達の作品から始まり、レビューを思わせる群舞、物語性が強く迫力ある群舞で魅せる作品、歌舞伎をモチーフとした作品、ソロの動きの美しさを魅せる作品、静かに一つの世界を作っていく作品、緊張感あふれる動きと言葉が際立つ作品、少人数で関係性を魅せる作品、フラメンコ等々…。全30作品はそれぞれに特色が強く打ち出されていて見応えがあった。今回で58回目となる現代舞踊公演は文字通り



藤井淳子ダンススタジオ「あの日を忘れない」より

「舞踊の今」を存分に感じられた。それぞれの作品が目指すところは違う。しかし、その違いを一つの公演として観られるのは大きな魅力で、貴重な体験だった。来年は岩手県盛岡市で開催されるとの事。きっとまた色とりどりの、様々な形の花が咲くのだろう。一度咲いた花も少しずつ変わりがらまた花を咲かせる。そして、人知れず驚くほど身近なところで、蕾や種が花を咲かそうとしているのだろう。その見えない大きなエネルギーに打ちのめされる。

ダンスを観る魅力はなんだろうか。何故足を運ぶのだろうか。知り合いや子供が出演するから？ 付き合いでチケットを買ったから？ 動きの美しさを楽しむ？ ダンサーの躍動感？ 作り手の意図を見出す事？ 踊り手の意志を感じる事？ 群舞の迫力？ ステージの持つ緊張感？ 音響？ 照明？ 全てを貪欲に重箱の隅をつつく様に楽しめるのが魅力なのだ。デジタル、ネット全盛の今、演劇関係者は皆口を揃えて「足を運んで生で観て欲しい」と言う。きっと踊り手も同じだと思う。VRという言葉も聞かれる様になったが、元々生で観る事を前提として発展してきたダンスや演劇は、作品を五感を研ぎ澄ませて感じる事が最高の触れ方だと改めて感じた。

●筆者近況

刺激を受けられる作品を観ました。いろいろな方に話を聞く機会が生まれました。自分を奮い立たせる為に一次は映画だと繰り返し日々が戻ってきました。よし、やろう。

鈴木順子バレエ教室
第13回発表会

2年に1度の発表会。3年もの間、マスクを付けて、レッスンをしてきました。4歳から中学生まで、21名の生徒が、個性豊かに踊ります。ぜひ観に来て下さい。【日時】11月12日(土) 13:00開場、13:30開演【場所】八戸市公会堂文化ホール【料金】無料【問合せ】鈴木順子バレエ教室 ☎090-1068-1509

演劇空間 **スペースベン**

～演劇好きのための、演劇の場～

※特別番組以外 金曜日は19時30分～、料金は一般前売500円
大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増し)
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい
八戸市柏崎1-11-8 TEL:080-6025-0990 FAX:050-3588-8350
E-MAIL:owner@spaceben.com URL:https://spaceben.com/

FRIDAY AMUSEMENT NEGATIVE SHOP
FANS FANS予定▶第1500～1503回

11月04日 ひま人DJ編「笑う果実」

脚本:加藤健太郎(劇団INTELVISTA)、構成・出演:田中勉
その他、随時かたり場などを開催中。詳細はホームページでご確認ください。

WHAT'S
"FANS"?

多目的スペース「SpaceBEN」にて、毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

— 一般前売500円/大学生以下前売200円(当日それぞれ100円増) —